

# 企業の活動を 生物多様性保全につなげるために

～2010 生物多様性条約第 10 回締約国会議 (CBD/COP10 名古屋) を視野に入れて～



## 実践的でリアルタイムな情報を、課題の解決にお役立て下さい。

NACS-J は生物多様性保全の方法を研究・実践する組織として、多くの企業の方々から、業務と自然保護に関わる課題への意見を求められてきました。その情報を広く社会にお伝えすることは、他の企業の方々にも日本の自然を守ることにプラスになると思われ、2003 年に「企業の社会的責任としての自然保護」と題した第 1 回目のセミナーを実施しました。回を重ねるにつれ、「企業が実施した先進事例」「社会貢献だけでなく、CSR として本業で取り組むにはどうすべきか」を知りたい等のご要望と、生物多様性への関心の高まりから、このセミナーのテーマも「CSR と生物多様性」に絞り込まれてきました。

本年、2010 年に CBD/COP10 の名古屋開催が決まったこともあり、企業活動における生物多様性保全の取り組みが注目されています。会議の中でも、企業活動との関係は論点の 1 つです。しかし日本での取り組み例は、まだ少数に留まっています。その理由はいろいろですが、「どのような企業活動が、生物多様性保全につながるのかがわからない」という切実な問題があります。これに着目し、本年のセミナーを企画致しました。段階をおった多面的な情報提供により、企業が取り組む意義や必要性、必然性、具体例を紹介します。この時期、多くの企業が CSR レポートを発表され、今後の事業計画の時期であるため、本セミナーの内容はご参考になると思われれます。また、業務上の課題をお持ちいただき、参加者全員で解決のアイデアを出し合う時間をご用意します。本セミナーを通し、企業経営や CSR に生物多様性保全が盛り込まれることを目指し、またこのことが各社の CSR の高い評価につながることを期待しています。

**協力  
対象**

IIHOE(人と組織と地球のための国際研究所)

**定員**

各回とも60名(先着順)

企業の経営、環境、CSR、社会貢献ご担当者で、「生物多様性保全と企業活動」についてヒントを得たい方。

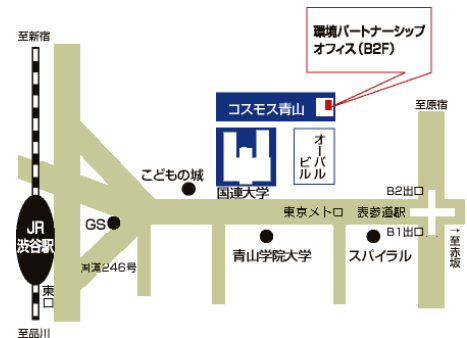
日時	プレゼンテーション
10/8(水) 13:00 -17:30	<p><b>第 1 回「生物多様性保全とは～人と生物多様性の関係」</b></p> <p>①「生物多様性の押さえ方～里やま保全の現状と課題」 高川晋一(NACS-J 保全研究部・研究担当) 生物多様性という言葉が示すもの、その意味と働き。特に全国の里やまの生物多様性の現状と課題、里やま保全活動や環境省のモニタリングサイト 1000 事業に組み込んだ視点を紹介する中から、それを保全する意味と必要性を解説します。</p> <p>②「生物多様性保全を目指して行われている企業活動を分類する」 川北秀人(IIHOE 代表) 多くの企業の CSR コンサルティングを通して把握した、生物多様性保全を目指す多彩な活動を紹介。CSR レポートにおける生物多様性の扱われ方からみた、多様性保全企画の類型化を試みます。</p> <p>コーディネーター：石井 徹(朝日新聞東京本社/環境・自然保護担当編集委員)</p>
10/15(水) 13:00 -17:30	<p><b>第 2 回「企業活動と生物多様性の応答とは～関係を発見し、自己評価するために」</b></p> <p>①「地域の生物多様性保全活動が、本業を支えている」 松井進一(朝日酒造株式会社取締役広報部長) 地域の資源に支えられる酒造業。業界のオピニオンリーダーとして、自治体や市民とともに実現した活動とそのポイント。多様性を守ることが本業の持続性を確保している、という典型事例を紹介しします。</p> <p>②「生物多様性はなぜ低下してきたか～NGO活動から得られるノウハウ」 横山隆一(NACS-J 常勤理事) 過去 20 年の自然保護の現場で見られた、生物多様性に影響を及ぼした事例。行われ始めた多様性を修復する事業。生物多様性は人の活動にどう応答し、どこを見るとそれが見つかるのか、実践事例を紹介しします。</p> <p>コーディネーター：三島 勇(読売新聞東京本社/調査研究本部 環境・エネルギー担当)</p>
10/24(金) 13:00 -17:30	<p><b>最終回「今、国際社会が求めていること～企業の生物多様性保全の必要性と必然性」</b></p> <p>①「多様性条約が企業に求めていること～COP9 からのリクエスト」 道家哲平(NACS-J 保全研究部・国際担当) 条約と締約国会議の内容、企業に求められてきたこと。COP10 の議題とされる地球規模の社会問題、IUCN(国際自然保護連合)ガイドラインなど、生物多様性分野の守備範囲の詳細を紹介しします。</p> <p>②対談「第三次生物多様性国家戦略と COP10～対応する政府・企業の課題とは」 徳丸久衛(環境省生物多様性地球戦略企画室長) + 横山隆一(NACS-J 常勤理事) 政府として COP10 で提示すること。議長国であることの意味。企業や市民の責務、COP10 後のビジョンとは。</p> <p>コーディネーター：横山隆一(NACS-J 常勤理事/保護問題担当、政府の政策立案検討会委員多数に就任中)</p>

**タイムテーブル** ※各回共通。開場はいずれも 12:30

13:00-14:30	・プレゼンテーション①及びQ & A (約 10分)
休憩	
14:40-16:10	・プレゼンテーション②及びQ & A (約 10分)
休憩	
16:20-17:30	・ディスカッション～当日のプレゼンテーマに関連した、ご参加の皆様が直面されている課題をご紹介いただき、参加者同士で共有された上で、解決方法を見つけていきます。 ・まとめ ～NACS-Jからのコメント、次回への橋渡し

**会場** **地球環境パートナーシップオフィス会議室**

渋谷区神宮前 5-53-67 コスモス青山 B2F  
Tel.03-3406-5180  
東京メトロ「表参道」駅徒歩 5 分、JR「渋谷」駅徒歩 10 分



**申込手順** 1. **Eメールまたは Fax に下記①～⑤を明記して、仮予約をして下さい。**

**参加申込書をお送りします。**

- ①参加希望日、②氏名、③社名または団体名(所属がない方は不要)、④メールアドレス、⑤NACS-Jの会員か否か

(普通会员の方は会員番号を、賛助会員の方は社名または団体名を明記)

仮予約のためのメールアドレス [real@nacsj.or.jp](mailto:real@nacsj.or.jp) (広報企画担当・森本言也)

※お預かりする個人情報、本企画及び企業経営やCSRと生物多様性に関する情報提供のためにのみ使用し、第三者には開示しません(プライバシーポリシーの詳細は、当協会のホームページをご覧ください)。

2. **「仮予約受領メール」と参加申込書を受け取られたら、必要事項を参加申込書に記入してご返送下さい。**

・返送は、メールへの添付または Fax でお願いします。

3. **参加費をご送金下さい。**

・入金確認後、参加証をお送りします。参加証は、当日会場入り口でお見せ下さい。

・送金方法: 郵便局備付けの用紙を使い、郵便振替をご利用下さい。用紙の「通信欄」に以下をご明記下さい。

1)「セミナー〇月〇日参加費」、2)会社名、3)参加者氏名

郵便振替口座番号00150-2-51775 加入者名「財団法人日本自然保護協会」

※恐れ入りますが、送金手数料はご負担願います。

**参加費** 1回1万円(但し、複数回参加される場合は、2回目以降は 5,000 円)

NACS-J 賛助会員企業の社員の方、また NACS-J 普通会员の方は全回とも 5,000 円。いずれも税込み。ご送金後の返金はできません。

※NACS-Jの普通会员でない参加者の方は、1年間当協会の個人会員に登録されます(賛助会員企業の社員の方、会社経費でご参加の方を除く)。登録された方には、生物多様性の情報を掲載した会報「自然保護」(隔月発行)を毎月お届けします。

※本セミナーに参加された方には、CSRや企業経営と生物多様性に関する情報を、継続して電子メール等でお送りします。

～ 日本自然保護協会は、会費と寄付に支えられた「自然保護 NGO」です ～

1949 年、発電所建設でダム底に沈もうとしていた尾瀬を守るため、生物学者や登山家などを中心に「尾瀬保存期成同盟」が結成されました。その後、尾瀬だけでなく広く日本の自然を守るため、1951 年「日本自然保護協会」と改称し、1960 年に日本の自然保護団体として初の財団法人となりました。その後、白神山地のブナ原生林や石垣島・白保サンゴ礁、清流長良川や川辺川の河川生態系保全活動など、各地の開発計画の見直しに成果をあげ、林野庁の森林生態系保護地域や世界遺産条約など新たな自然保護制度の紹介と導入に努力し、実現してきました。

日本自然保護協会は、各地の自然保護問題を具体的に解決するため半世紀以上活動してきた、自立的な自然保護・生物多様性保全の団体です。いつでも誰に対しても自由に発言できるよう、主な財源は一般からの会費と寄付とし、自主性・独立性を保ってきました。行政機関からの天引きは受け入れておりません。自発的な活動で、あらゆる自然保護施策とパートナーシップを組むアドボカシー(政策提言型)NGO です。

財団法人 日本自然保護協会

(担当: 広報企画・森本言也)

〒104-0033 東京都中央区新川 1-16-10 ミトヨビル 2F

Tel.03-3553-4108 Fax.0139 morimoto@nacsj.or.jp <http://www.nacsj.or.jp>